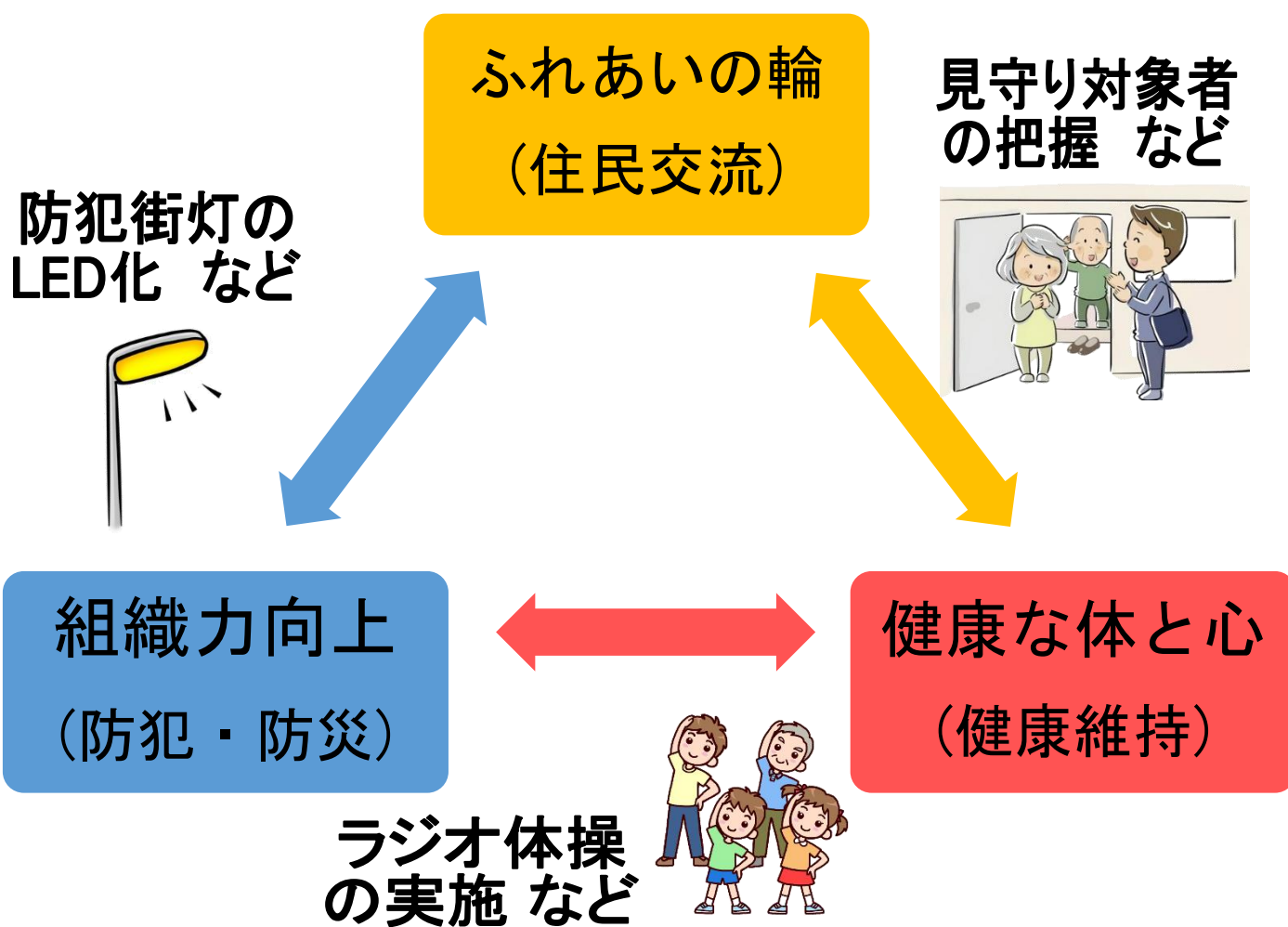


住民発！

鴨生田校区小地域福祉活動第一次計画



なまち 鴨生田 を目指して



この冊子は、鴨生田校区社会福祉協議会を中心に、自治会などの関係団体等が連携して、「福祉のまちづくり」を推進するための5ヵ年計画であり、皆さんが、安心・安全して暮らせるための取り組みなど記載しています！



鴨生田校区社会福祉協議会

ごあいさつ

鴨生田校区は、国道 199 号線と県道 277 号
頓田二島線が交差している交通の要所に位
置する、若松区のほぼ中央にある地域です。
そのため、スーパーなどの生活関連機関を
はじめとする、様々な地域資源があり、比較
的住みやすい地域であると思います。

しかし、昨今の少子高齢化に伴い、孤独死
や認知症、活動者の高齢化など様々な諸問題
がこの鴨生田校区にも出てきており、特に
地域の基盤となる自治会の加入率の低下は
大きな課題であると言えます。

そこで、今後の地域福祉活動を進めていく
ために、各地域団体がもう一度活動や課題を
共有し、それらに対して話し合い、協力して
いくことが重要であると考え、すでに策定さ
れている北九州市の「北九州市地域福祉計
画」と北九州市社会福祉協議会の「地域共生
きたきゅうプラン」との整合性を持った、
この新しい小地域福祉活動計画を策定しま
し、今後は、住民主導による地域福祉活動
をこの計画を基に推進してまいります。

最後に、この計画策定にご尽力いただいた
関係者の皆様に、感謝申し上げ、挨拶と
させていただきます。

鴨生田校区福祉協議会
会長 大津 康 裕



も く じ

ごあいさつ	・・・1 P
第 1 章 計画策定にあたって	・・・2 P
1 計画の性格	
2 計画の期間	
3 計画の策定経過	
第 2 章 鴨生田校区の現状と課題	・・・3 P
1 地域社会の動向	
2 地域の福祉課題	
第 3 章 計画体系	・・・4 P
1 基本理念	
2 基本目標	
3 実施項目（体系図）	
4 重点実施項目	
第 4 章 計画の推進	・・・8 P
1 計画の承認と周知	
2 計画を推進するための体制	

第1章 計画策定にあたって

1 計画の性格

(1) 住民発信の行動計画

鴨生田校区の様々な福祉課題を解決するために、地域住民・諸団体等が将来の見通しを持ち計画的に活動しようとするための行動計画です。

(2) 小地域の生活を支える計画

鴨生田校区に住む人たちの「生活」を支えることを活動の基本とする計画です。

(3) 北九州市及び北九州市社会福祉協議会と連携する計画

北九州市及び北九州市社会福祉協議会の計画と連携しながら、地域福祉活動を進めていく計画です。

(4) 鴨生田校区の活動指針となる計画

社会福祉協議会が地域福祉推進の中核的な団体としての方針や発展強化の道筋を明らかにする性格を有します。

2 計画の期間

令和5年度から令和9年度の5ヵ年とします。また期間中に地域を取り巻く状況に大きな変化があれば、見直します。

3 計画の策定経過

鴨生田校区社協の大阪会長が計画の素案を作成し、それを基に策定委員会のメンバーで話し合いを行いました。その話し合いを繰り返す中で、鴨生田校区は若松区内では珍しく、1つの自治会で構成されている地域であるため、中心となる活動も自治会関連のものとなるのでは、との視点から、重点実施項目に加入促進などの項目を追加・修正し、令和5年2月に計画策定しました。



第2章 鴨生田校区の現状と課題

1 地域社会の動向

鴨生田校区データ

令和4年9月30日現在

人	口	7, 800 人	保 育 所	鴨生田保育園 二島保育所
世 帯 数	3, 835世帯	小 学 校	鴨生田小学校	
		中 ・ 高 校	二島中学校 若松商業高等学校、高稜高等学校	
高 齢 化 率	36. 2 %	市民センター・公民館	島郷市民センター 二島公民館	
一人暮らし高齢者数	682人	地域包括支援センター	若松 2	
高 齢 者 の み 世 帯	668世帯			
そ の 他 社 会 資 源 等		【生活関連】イオン若松、マルショク二島、トライアル二島 など 【医療関連】あべ内科循環器科クリニック、佐藤医院、 皮ふのクリニック二島、森内科小児科医院 など 【福祉関連】ケアサポートセンターなすな、なでしこ館ケアプランセンター きたふく ヘルパーサービス若松 など		

鴨生田校区は、国道199号線と県道277号頓田二島線が交差している交通の要所に位置しており、折尾や黒崎などへもアクセスしやすい、若松区のほぼ中央にある地域です。

そのため、上記に挙げているようにスーパーなどの生活関連、各種病院・クリニックといった医療関連、ケアプランセンターをはじめとする福祉関連といった様々な地域資源があり、比較的住みやすい地域であると思います。また昨今はコロナ禍で停滞していますが、二島祇園山笠やレクフェスタといった地域行事も盛んな地域です。

2 地域の福祉課題（および小地域福祉活動の課題）

高齢化率に対し、現在の見守り活動の対象世帯が約50程度と、実態に即しておらず、まだ把握できていない、支援が必要な高齢者がいると感じています。また活動を支える福祉協力員も平均年齢が高く、その後継者や活動をサポートする人材の確保も必要です。

さらに、鴨生田校区は地域に1つしか自治会（27区）がないため、その自治会の加入状況が地域活動に大きく影響する地域であると言えますが、他自治会同様、加入率も低下している現状があります。



第3章 計画体系

1 基本理念 「安心・安全なまち鴨生田」

鴨生田校区では、今後は誰もがこの地域で安心・安全な生活を送れることを目指し、「安心・安全なまち 鴨生田」という言葉を計画の理念（今後の目指すべき姿）とし、これからの計画を推進していきます。

2 基本目標

（1）地域住民のふれあいの輪を広めよう（住民の交流活動の推進）

- ・地域の集いの場である「サロン活動」の更なる充実
- ・地域行事の実施協力や参加呼びかけ（広報紙や見守り活動などによる声掛け）
- ・各関係機関との連携

といった活動を通じ、皆さんの交流拡大、地域とのつながりづくりを目指します。

（2）地域の防災力を高めよう（防犯・防災意識の向上と各団体の組織力の強化）

- ・自治会の加入促進（情報共有に向けた LINE や掲示板の活用）
 - ・防犯・防災体制の見直し（連絡網の作成や、避難場所の周知）
 - ・地域を支える人材の確保（福祉協力員やスクールヘルパー、見守り隊員など）
- といった活動を通じ、皆さんが安心して生活できる基盤づくりを目指します。

（3）健康な体と心を育てよう（健康維持活動の推進）

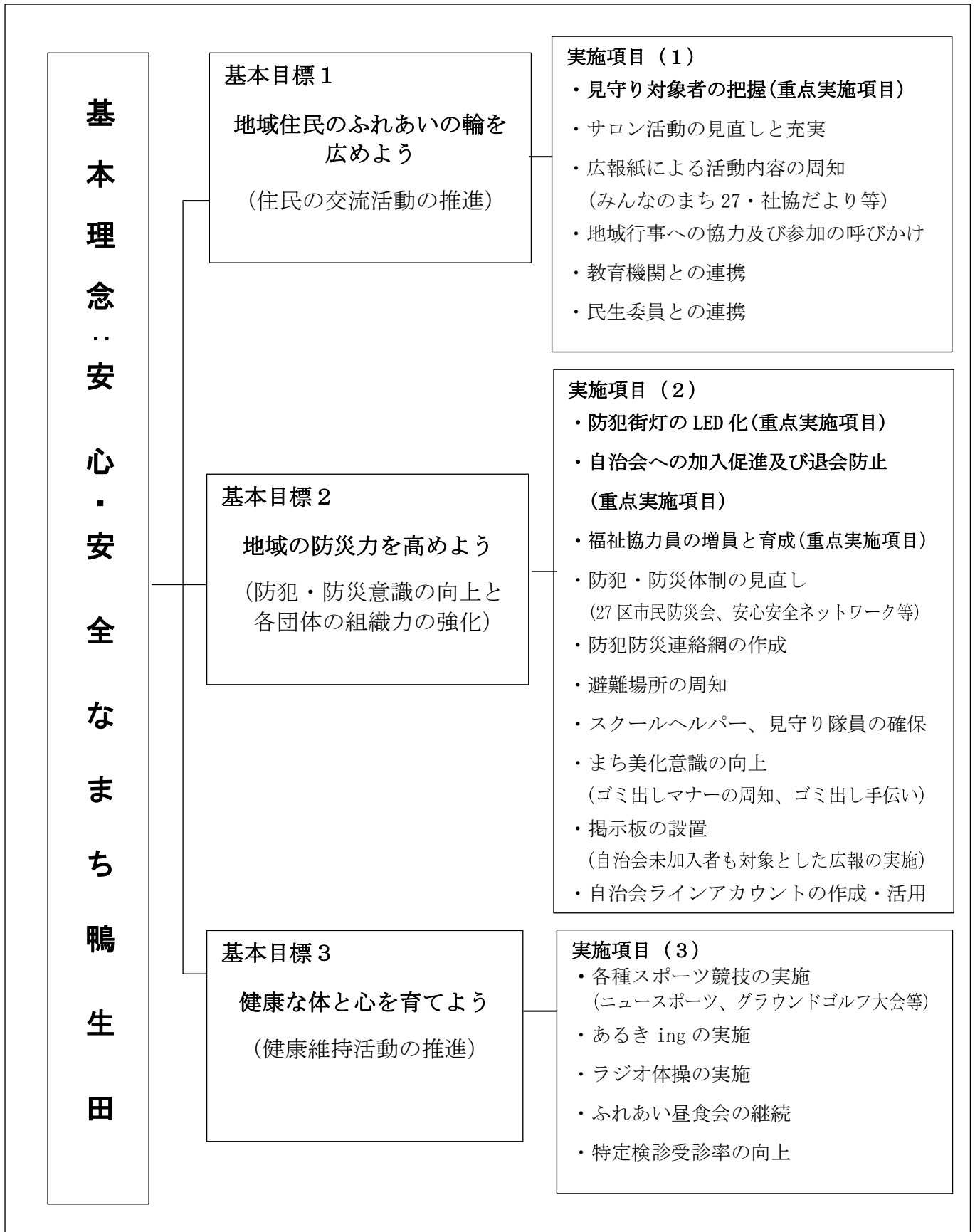
- ・各種スポーツ競技の実施（ニュースポーツ、グラウンドゴルフ大会など）
- ・健康につながる活動の実施（あるき ing、ラジオ体操など）
- ・特定健診受診率の向上

といった活動を通じ、皆さんが少しでも長く健康で過ごせる風土づくりを目指します。

【活動の例】



3 実施項目（体系図）



4 重点実施項目

重点実施項目 1		見守り対象者の把握					
1 課題背景							
鴨生田校区では、支援が必要な高齢者を対象に見守り活動を行っている。しかし、実際の高齢化率に対し、その対象者が少ない実情があり、それには対象になる方の情報が校区社協だけでは把握が困難であることが背景にある。							
2 活動の方針・目標							
自治運営委員や民生委員と連携し、見守り対象者の方の情報を把握する。また、見守りを押し付けるのではなく、本人の希望に沿って活動を展開する。							
3 取组的な取組みの年次計画							
取り組み内容	連携する機関	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	備考
関係機関と連携した見守り対象者の把握	・自治運営委員 ・民児協						把握した対象者に、見守りの希望の有無を確認。
計画の修正・見直し	・推進委員会						特に中間（3年次）と更新（5年次）は重点的に行う。

重点実施項目 2		防犯灯の LED 化					
1 課題背景							
現在、鴨生田校区内には 300 灯の街灯が存在する。そのうち約 100 灯はすでに LED に切り替わっているが、今後の安心・安全のためには、全ての街灯をより明るい LED へ切り替える必要があると感じている。							
2 活動の方針・目標							
令和 9（2028）年を目途に、校区内の全街灯 300 灯の LED 化を実施する。							
3 取组的な取組みの年次計画							
取り組み内容	連携する機関	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	備考
LED への切り替え	・自治会 ・まち協						
計画の修正・見直し	・推進委員会						特に中間（3年次）と更新（5年次）は重点的に行う。

重点実施項目 3		自治会への加入促進及び退会防止					
1 課題背景							
鴨生田校区は、地域に1つの自治会（27区）しかなく、地域の基盤となる存在である一方で、現在の加入率は低下している。今後の活動への支障・継続が困難になることを危惧している。							
2 活動の方針・目標							
未加入者に向け、自治会へ入ることの必要性やメリットの周知を徹底する。また新たな地域住民となる方に対し、個人あるいは建築業者を通じた加入推奨を行う。 また既存の加入者の脱会理由として、高齢化に伴い自身で自治会活動が出来ない、困難であることへの不安・負担感があることが挙げられるため、それに対する対応も展開したい。							
3 段取り的な取組みの年次計画							
取り組み内容	連携する機関	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	備考
掲示板やLINE などによる情報の周知	・自治会 ・まち協 ・公園愛護会	設置		実際の運用			掲示板は高齢者 LINE は若者を想定
自治運営委員を通じ未加入者へ働きかけ	・自治運営委員						自治会の仕事や必要性の理解を促す
新規住民への働きかけ	・自治会 ・自治運営委員 ・民児協 ・建築業者						各団体とは、転入者情報をいち早く共有するため、連携
代理人制度の活用	・自治会	検討		実際の運用			不安・負担感の軽減を目指す
計画の修正・見直し	・推進委員会						特に中間（3年次）と更新（5年次）は重点的に行う。

重点実施項目 4		福祉協力員の増員と育成					
1 課題背景							
現在の福祉協力員の平均年齢が 75 歳と高齢化しており、若返りを目指す必要がある。							
2 活動の方針・目標							
各団体と連携を図り、協力員の確保を目指す。また補佐役としてのニーズ対応員を確保し、協力員の負担軽減につなげる。							
3 取り的な取組みの年次計画							
取り組み内容	連携する機関	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	備考
各団体との協力	・ 青少協 ・ 育成会						若い世代と接点のある団体を中心に
ニーズ対応員の確保	・ 各団体						サロン体験などから
計画の修正・見直し	・ 推進委員会						特に中間（3 年次）と更新（5 年次）は重点的に行う。

第4章 計画推進

1 地域への計画の承認と周知

- (1) 校区社会福祉協議会総会等を通じた社会福祉協議会活動者への計画の承認と周知
- (2) 計画の実施項目を進めていく上での関係機関・団体への周知・協力依頼
- (3) 計画書の配付等を通じた校区住民への周知

以上について、計画を推進していくために、計画の広報活動を行います。

2 計画を推進するための体制

- (1) 小地域福祉活動計画推進委員会の設置

計画を推進していくために、鴨生田校区小地域福祉活動計画推進委員会を設置し、計画の進行管理を行います。

- ① 関係機関・団体との連携
- ② 計画内容の具体的な実施方法
- ③ 進行管理の実施

以上について、委員会では協議を進めていきます。

- (2) 計画の進行管理

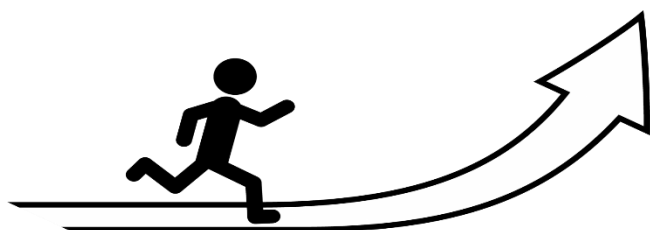
鴨生田校区小地域福祉活動計画推進委員会を開催します。(当年度の事業推進の確認、年度内における中間確認、次年度の事業確認など) 委員会では、PLAN (計画立案)・DO (実行)・CHECK (点検・評価)・ACT (改善) というPDCAのサイクルを回しながら、計画内の各実施項目の進捗状況を把握し、うまく進行していない場合には、その原因を明らかにし、問題への対策を立て、その対応策を実施します。

- (3) 計画の評価

計画期間の中間点では計画全体の間見直しを、最終年度には総括評価を行います。

3 第2次計画の策定

第1次計画の推進状況を踏まえ、第2次計画の策定期間(計画第5ヶ年度)には新しく第2次計画策定委員会を設置し、計画策定に向けて協議を進めていきます。



**第1次計画の課題・成果を
踏まえ、より良いものへ**

参考資料【鴨生田校区小地域福祉活動策定委員名簿】

	氏 名	所属団体等	役職	備 考
1	大津 康裕	社会福祉協議会	会長	まち協 ふれあい・福祉健康部会長
2	穴井 政美	社会福祉協議会	副会長	
3	谷口 敏秋	社会福祉協議会	副会長	まち協 総務・広報部会長 公民館 総務
4	那須 篤義	社会福祉協議会	副会長	社協 福祉厚生部長
5	松本 吉生	社会福祉協議会	副会長	
6	吉住 篤	社会福祉協議会	総務	まち協 監査、公民館 会計
7	榊原 健士良	社会福祉協議会	会計	
8	久保田 京子	社会福祉協議会	部長	社協 ふれあいネットワーク事業部長
9	森 由伸	社会福祉協議会	部長	社協 保健体育部長
10	藤本 恭司	社会福祉協議会	部長	社協 広報部長
11	平野 辰巳	社会福祉協議会	監査	
12	内田 幸助	27 区自治会	会長	まち協 会長
13	田中 博海	27 区自治会	副会長	まち協 副会長
14	梅田 繁	27 区自治会	副会長	まち協 副会長
15	日高 紀美雄	27 区自治会	総務	まち協 事務局長・社協 監査
16	中野 利勝	27 区自治会	防犯・防災部長	まち協 防犯防災部会長 社協 監査
17	浮田 優美子	27 区自治会	環境衛生部長	まち協 施設管理・美化部会長
18	立石 章子	27 区自治会	会計	まち協 会計
19	三宮 司	二島公民館	主事	まち協 監査
20	井手 広道	二島公民館	事業企画部長	
21	山本 良司	青少年育成協議会	会長	
22	中村 智弘	子ども育成会	会長	まち協 青少年育成部会長
23	佐々木 晃子	鴨寿会連合会	会長	まち協 生涯学習部会長
24	水流 美千代	地区民生委員児童委員協議会	会長	
25	三好 真澄	島郷市民センター	館長	
26	木下 義憲	北九州市社協若松区事務所	事務所長	
27	前田 純志	北九州市社協若松区事務所	主事	
28	乙坂 勝	北九州市社協若松区事務所	地域支援 コーディネーター	

Memo



A series of horizontal dashed lines for writing, spanning the width of the page.

鴨生田いきいきサロンのご案内

二島公民館で、毎月第2木曜日
(10:00~12:00)の間、
コロナにも負けず、開催中！

花見や七夕、クリスマス等の季節
行事、または健康体操から地域行事
への参加等、楽しい内容いっぱい！
皆さんの参加をお待ちしています！



【問い合わせ先】

鴨生田校区社会福祉協議会

〒808-0103 北九州市若松区二島5丁目7-2 二島公民館内
TEL 093-791-7690

若松区社会福祉協議会

〒808-8510 北九州市若松区浜町一丁目1番1号 若松区役所内
TEL 093-761-3422 FAX 093-761-3660

北九州市社会福祉協議会

〒804-0067 北九州市若戸畑区汐井町1番6号 ウェルとばた8階
(代表)TEL 093-882-4401 FAX 093-882-3579
(地域福祉部)TEL 093-882-4425 FAX 093-873-1351

